



経営理念

ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。
ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、
人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。
ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、
そのネットワークによって成り立っています。
会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。
ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

私たちの基本姿勢

ろうきんは働く仲間がつくった金融機関です

「ろうきんは、労働組合や生活協同組合の働く仲間が、
お互いを助け合うために、資金を出し合ってつくった協同組織の金融機関です。」

ろうきんは、営利を目的としない金融機関です

「ろうきんは、労働金庫法というルールにもとづいて、非営利を原則に公平かつ民主的に運営されています。」

ろうきんは、生活者本位に考える金融機関です

「ろうきんの業務内容は、預金やローン・各種サービスなど、一般の金融機関とほとんど変わりません。
しかし、資金の運用がまったく違います。働く人たちからお預かりした資金は、働く人たちの大切な共有財産として、
住宅・結婚・教育資金など、働く仲間とその家族の生活を守り、より豊かにするために役立てられています。」

ろうきんの事業運営

当金庫は、労働金庫法第5条に定められている

「非営利の原則」「会員に対する直接奉仕の原則」「政治的中立の原則」に基づき、
中期経営計画および年度事業計画等を策定し事業運営を行っています。

「非営利の原則」

金庫は協同組織の原則に基づく金融機関であり、営利を目的としてその事業を行ってはならない。

「会員に対する直接奉仕の原則」

会員に奉仕するとは、会員全体に奉仕することであり、特定の会員の利益のみを目的として、その事業を運営してはならない。

「政治的中立の原則」

金庫の事業運営にあたっては、政治的中立の立場を堅持し、特定の政党のために利用してはならない。

利益相反管理方針の概要

1.基本方針

当金庫は、法令、規程等(以下、「法令等」といいます。)を遵守し、誠実で公正な事業遂行を通じて、当金庫の商品・サービスの最良な提供を実現することをもって、お客さまの金融に関する正当な利益の確保に取り組みます。

当金庫は、将来にわたってお客さまから信頼され必要とされる金融機関であり続けるため、お客さまの保護に継続的に取り組むものとし、以下のとおり、そのための方針を公表いたします。

2.利益相反の管理

利益相反とは、当金庫とお客さまの間、および当金庫のお客さま相互間において利益が相反する状況をいいます。

利益相反のおそれがある場合、法令等およびこの基本方針に則り、お客さまの利益が不当に害されることのないよう適切な利益相反管理措置を講じるものとします。

3.利益相反管理の対象取引と特定方法

当金庫は、利益相反管理の対象となる利益相反のおそれのある取引(以下、「対象取引」といいます。)として、以下の①、②に該当するものを管理いたします。

- ① お客さまの不利益のもとに、当金庫が利益を得、または損失を回避している状況が存在すること
- ② ①の状況がお客さまとの間の契約上または信義則上の地位に基づく義務に反すること

また、お客さまの取引が対象取引に該当するか否かにつき、お客さまから頂いた情報に基づき、営業部門から独立した利益相反管理責任者により、適切な特定を行います。

4.利益相反取引の類型

対象取引は、個別具体的な事情に応じて対象取引に該当するか否かが決まるものですが、例えば、以下のような取引については、対象取引に該当する可能性があります。

- (1) お客さまの不利益のもとに、当金庫が利益を得たり、または損失を回避する可能性がある状況の取引(例:優越的地位の濫用、抱き合わせ販売により、当金庫の利益を図るために、お客さまに不当に不利益を与える状況の取引)
- (2) お客さまに対する利益よりも優先して他のお客さまの利益を重視する動機を有する状況の取引(例:会員等の財務に関する情報の提供・相談ならびに助言・指導において、お客さまの利益より優先して、他のお客さまの利益を図る状況の取引)
- (3) お客さまから入手した情報を不当に利用して当金庫または他のお客さまの利益を図る取引(例:お客さまの秘密情報を流用して、他のお客さまの利益を図る取引)
- (4) その他お客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引

5.利益相反管理体制

適正な利益相反管理の遂行のため、当金庫に利益相反管理統括部署を設置し、利益相反管理に係る当金庫全体の情報を集約するとともに、対象取引の特定および管理を一元的に行い、その記録を保存します。

対象取引の管理方法として、以下に掲げる方法その他の措置を適宜選択し組み合わせて講じることにより、利益相反管理を行います。

また、これらの管理を適切に行うため、研修・教育を実施し、金庫内において周知・徹底するとともに、内部監査部門において監査を行い、その適切性および有効性について定期的に検証いたします。

- (1) 対象取引を行う部門とお客さまとの取引を行う部門を分離する方法
- (2) 対象取引またはお客さまとの取引の条件または方法を変更する方法
- (3) 対象取引またはお客さまとの取引を中止する方法
- (4) 対象取引に伴い、お客さまの利益が不当に害されるおそれがあることについて、お客さまに適切に開示し、お客さまの同意を得る方法

6.利益相反管理の対象範囲

利益相反管理の対象となるのは、当金庫のみとなります。

プライバシーポリシー（個人情報保護方針）

当金庫は、高度情報通信社会における個人情報保護の重要性を認識し、以下の方針に基づきお客さまの個人情報を取り扱います。

1.個人情報の取得について

当金庫は、お客さまのお取引やサービスを提供するために、適法かつ公正な手段によって、お客さまの個人情報をお預かりします。

2.個人情報の利用について

- (1) 当金庫は、お客さまの個人情報を、公表している利用目的あるいは取得の際にお示した利用目的のうち、業務の遂行上必要な範囲で利用します。
- (2) 当金庫は、お客さまが所属する会員団体(労働組合等)との間で、お客さまの個人情報を共用させていただきます。
- (3) 当金庫は、お客さまの個人情報の取り扱いを外部に委託することがあります。委託する場合には、当該委託先について厳正な調査を行ったうえ、お客さまの個人情報が安全に管理されるよう適切な監督を行います。
- (4) 当金庫は、お預かりした個人情報について、お客さまの同意がない第三者への提供・開示は行いません。

3.個人情報の管理について

当金庫は、お客さまの個人情報の紛失・破壊・改ざん・漏えい・不正アクセスなどを防止するため、セキュリティ対策を講じて適切に管理します。

4.個人情報の開示・訂正・利用停止等について

- (1) 当金庫は、お客さまがご自身の情報について訂正をご希望される場合、事実と異なる場合には合理的な範囲で訂正します。
- (2) 当金庫は、お客さまがご自身の情報について利用停止または消去をご希望される場合、合理的な範囲で利用停止または消去を行います。
- (3) 当金庫は、お客さまがご自身の情報について開示をご希望される場合、合理的な範囲で当金庫が規定した方法により対応します。
- (4) 開示・訂正・利用停止等のお申し出、およびその他個人情報に関するお問合せにあたっては、下記の窓口までご連絡ください。

個人情報相談室 TEL 0120-086-100 FAX 0120-753-300
e-mail:kojinjoho@kyusyurokin.or.jp

5.個人情報保護の維持・改善について

当金庫は、個人情報管理責任者を置いて、お客さまの個人情報が適正に取り扱われるよう、従業者への教育を徹底し、定期的に点検すると同時に、個人情報保護の取り組みを継続的に見直し、その改善に努めます。

6.個人情報保護法等の法令等の遵守について

当金庫は、個人情報保護法等の法令等を遵守して、お客さまの個人情報を取り扱います。

金融円滑化に関する方針

当金庫は、みなさまの金融機関として、勤労者福祉の向上のため「しあわせ創造運動」を展開し、融資をご利用いただいているお客さまから返済計画の見直しにかかるご相談・お申込みがあった場合、できる限りご返済にかかるご負担

を軽減するために必要な措置を取るよう金融円滑化に努めております。

金融円滑化の方針・体制の概要、2010年3月末の実施状況は29～33頁に示す通りです。